

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

Table listing various music-related businesses and services across different districts like Nakagyo, Minami, and Maibara. Includes categories like 'Public Facilities', 'Community Centers', and 'Music Schools'.

▲上記、サポーター記載は無料です。 ※2024年5月29日現在



音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/
後援
●川崎市中原区
●「音楽のまち・かわさき」推進協議会
●公益財団法人 川崎市国際交流協会



2025年5月はお休みです。
音友レコード倶楽部
レコードコンサートのプログラムは
「レコードの経典音楽の集い」のジャズレコードジャンスの集い
持ち寄りタイム持参レコード/CDを楽しく聴いて開催中



桑山千穂(くわやまちはほ)：
唄うたい・絵描き・表現者
東京都狛江市に生まれ育ち、長野県が第2のふるさとである。
長野県でたくさんの人に支えられながら、多くのライブを経験し2015年に神奈川県に来てからソロ活動を開始し
優しいギターの色と共に、人の心にそっと寄り添えるようなほっこりするような唄を 届けられる唄うたいを目指し、神奈川
県・東京都のイベント会場などでライブ活動を行っている。

A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music
Mマガジン
2025年5月16日号
2025年4月16日発行(毎月16日発行)
第123号
発行・編集人：塚田親一
編集：藤田順治/大塚明弘 佐伯奈々重
発行：音楽好きな友の会
川崎市中原区木月2-21-32
TEL 090-9398-2889
2025-4-16-800 Printing IT

連載03 ヴァイオリン王子が贈る "Buono!"なヴァイオリンのお話
悪魔と呼ばれしヴァイオリニスト

「悪魔に魂を売った」という有名な逸話がある、19世紀の天才ヴァイオリニスト"パガニーニ"。卓越した超絶技巧と華麗で独創的な演奏スタイルで、ヨーロッパの聴衆を魅了しました。そんなパガニーニの華麗な技法は、ギターの奏法に由来しているという説もあります。演奏旅行の際には頻りにギターも持ち込み、折に触れて弾いていたとされており、実際ギターの独奏曲なども作曲しています。そして彼の独創的なヴァイオリン技法の一部は、ギターの奏法を応用して編み出したというのです。パガニーニがヴァイオリン曲で多用しているフラジオレットや左手指で弦をはじいて演奏する技法など、確かに非常にギター的といえます。
そして、そんなパガニーニも同時代に活躍した大作曲家であるベートーヴェンの作品を愛していたとされています。ベートーヴェンといえば有名なヴァイオリン協奏曲がありますが、当時はまだ有名ではなく知る人ぞ知る作品だったのですが、パガニーニはそこ作品の魅力をいち早く理解して演奏していたそうです。
パガニーニが目指した音楽はベートーヴェンの作品とは一見全く違うように思えますが、パガニーニの心にはベートーヴェンへの尊敬と憧れがあったに違いありません。そんな逸話も聞き、パガニーニは悪魔なんかではなく人間らしい天才ヴァイオリニストだったんだと、私は思いました。
そんなパガニーニの破天荒な生涯を描いた映画が、2014年に公開されました。パガニーニ役に抜擢されたのは、「現代のパガニーニ」とも称されるデイヴィッドギャレット。クラシックのみならずクロスオーバーやポップスも弾きこなす彼の演奏を聞いていると、悪魔に魂を売ったのではないかと感じてしまうほど私は惹き込まれました。
キャッチコピーである「音楽史上、最も不道徳な男が奏でる、最も美しい旋律」それがどんな音なのか、みなさんも興味湧いてきませんか？

ヴァイオリン奏者 坊野 称央己



13歳からヴァイオリンを始め上野学園大学音楽学部を卒業。アーティストサポートやイベントに多数出演する他、武蔵小杉・元住吉エリアにて出張レッスンやオンラインレッスンも展開中。

Violinist・坊野称央己・Official Site
naokibono-violin.com



元住吉ミュージック・フェスティバルの「お礼号」のお知らせ

音友会が毎月発行している「Mマガジン」で今年も開催出来ました「第4回元住吉ミュージック・フェスティバル(MMF)」の出演者、および関係者の皆さんからの「MMFに参加して」などの一言を頂きMマガジンの「特別付録」で、会場に来られなかった皆さんにもご紹介を予定しています。
ぜひ今回出場した14団体、総勢75名の皆さんの今後の応援活動を宜しくお願いします。
音楽好きな友の会代表/元住吉ミュージック・フェスティバル実行委員会代表 塚田親一

3月12日に行われた「出演団体説明会」の一こまをご紹介します。



▲司会のミニッツの2人、委員長：塚田親一、副委員長：江川公美

●Mマガジンご愛用の皆様も期待を頂いている「Mマガジンの表紙モデル」は、MMF出場、自分もモデルをしてみたい、と言うプロからアマまで有志による音楽活動の演奏者、またサポートをされている音響、舞台などの方を紹介しています。詳細は音友会HPをご覧ください。



川崎市国際交流センター
川崎市生涯学習プラザ



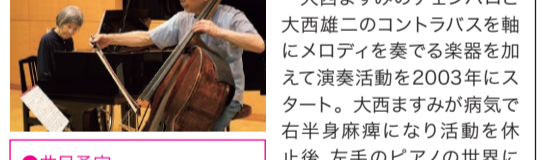
川崎市国際交流センターについて

世界が国際的相互理解、協力関係をますます深めていくなかで、地域社会にも国際化が求められてきました。このため、地域社会の国際化を担う市民の活動を支え、言葉や民族、文化の異なる多くの世界の都市や市民との交流、協力を推進するため、学習と実践の拠点として、平成6年に「川崎市国際交流センター」が中原区木月祇園町にオープンしました。

●お問い合わせ
公益財団法人川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp
ホームページ https://www.kian.or.jp/

第148回ランチタイム・ロビーコンサート

出演：アンサンブル・アディ/左手のピアノ、コントラバス



【プロフィール】
大西ますみのチェンバロと大西雄二のコントラバスを軸にメロディを奏でる楽器を加えて演奏活動を2003年にスタート。大西ますみが病気で右半身麻痺になり活動を休止後、左手のピアノの世界に出会い、コントラバスと共に新たな演奏スタイルで活動を再開。お話を交えながら親しみのある音楽を中心に演奏します。

●日時：2025年5月15日(木曜日)
12:00開場/12:10開演/12:40終演予定
●料金：無料
●場所：川崎市生涯学習プラザ・1Fロビー

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団 総務室 総務係 ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560 E-mail: concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41
ホームページ https://kpal.or.jp/

音楽好きな友の会(音友会)
ジャズのスタンダード曲“A Child Is Born”

5月5日と言えば端午の節句(こどもの日)。という事で今回は子供が題名につけられている曲“A Child Is Born”をとりあげてみた。

作曲者はトランペッターとして有名なサド・ジョーンズでこの曲は、キリストの誕生を描いた曲、ヘンデルの「メサイヤ」からヒントを得て作られたらしい。彼は昔、カウント・ベーシー楽団に在籍した後、サド・ジョーンズ=メル・ルイス・オーケストラ(通称サドメル)を結成し、この楽曲を演奏している。ピアノの後にテーマをフリューゲルホルンで吹いているのがサド自身で、ゆったりとした、穏やかなバラード。たまたま、私が2年の時、在籍していたビッグバンドの部屋にふらっとサド・ジョーンズがお見えになり演奏を聴きにきた。また、一橋大学の大学祭で、講堂で演奏し、それを聴きに皆で行った。その時の来日公演のサドメルは、豪華な顔ぶれで、リード・トランペッターに若きジョン・ファティス、バリトン・サクスのペッパー・アダムスやベースのジョージ・ムラーツなど多士済々でした。超満員で座るところがなく最前列で座り込んでいました。サド・ジョーンズの踊るような指揮が忘れられない。凄いバンドでした。

♪ 2025年5月未定のお知らせ!! ♪
第126回音友レコード倶楽部は会場都合で未定です。
※詳しくは「音友会」のホームページでお知らせします。
https://ontomo.jp

Mマガジン編集部からのお詫び
「元住吉ミュージック・フェスティバル」の制作物の一部の後援に記載漏れが有り謹んでお詫び申し上げます。
編集長 塚田親一

音友レコード倶楽部PR動画!
「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。
常連の参加者との共同製作です。
撮影・編集はギター奏者の永瀬晋が担当。
新規参加の前に、ぜひご覧ください。
YouTube配信。

